

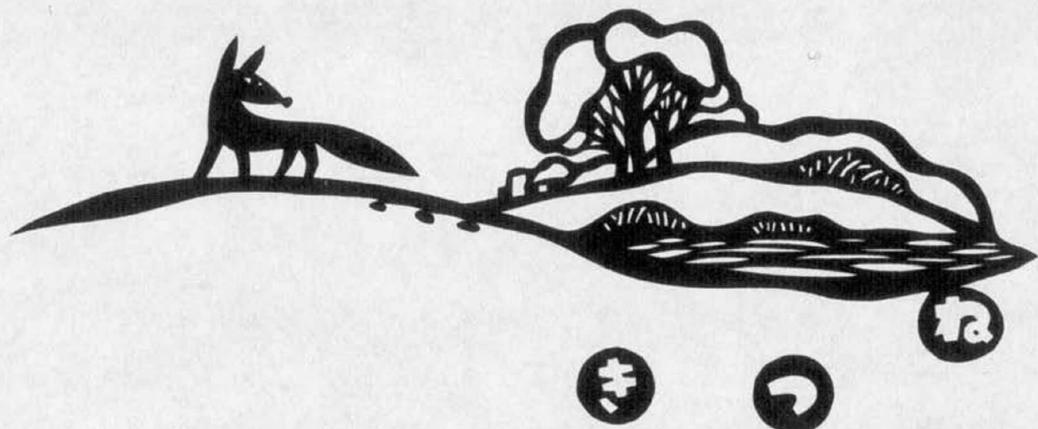
THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所
住所 ●埼玉県所沢市弥生町 2996-6 山口ビル1F TEL/FAX 04-2994-3212
発行日 ●2005年(平成17年)1月31日

VOL.30



切り絵 毛利将範

まだまだ寒い日が続きますが、皆さま如何お過ごしでしょうか？

こちら川づくり連絡会メンバーは、寒さなど何処吹く風と言わんばかりに、昨年からはじめた川づくり見学会を寒空の下で実施しています。とは言え、今回は船上見学会.. 巡視船「あらかわ」に乗って治水施設を見学しました。今号には、そんな「荒川下流見学会」から、昨年11月に実施された流域内でのイベントのレポートなどを掲載しています。

寒くたって「元気一杯」の川づくり連絡会を本年もどうぞよろしくお願いたします。

目次

- P2-4 特集：第4回 川づくり見学会
荒川下流見学会
- P5 レポート：お宝交流シンポジウム
志木をまるごと博物館にしよう！
- P6-7 レポート：身近な川の一斉調査
(2004年) 報告会
- P8 流域イベント・インフォメーション
新所沢事務所通信

第4回 川づくり見学会

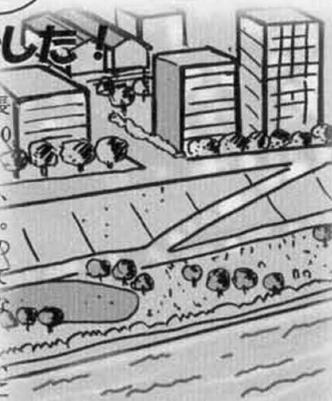
荒川下流見学会

巡視船に乗って治水施設を見学しました！

荒川は、奥秩父・甲武信ヶ岳(標高2,475m)に源を発する総延長173kmの1級河川で、その流域は約2,940km²、流域に住む市民は約930万人におよんでいます。

下流部では、明治43年の大洪水を契機に、北区志茂に水門が設けられ、延長22km、幅500mの荒川放水路を開削する事業が行われました。この事業は、明治44年から約20年を費やして行われ、現在の荒川の姿がつくられました。荒川下流部は、首都東京を流れる大河川として治水面での重要度が高いことは言うまでもなく、首都圏における貴重なオープンスペースとしても多くの人々に親しまれています。

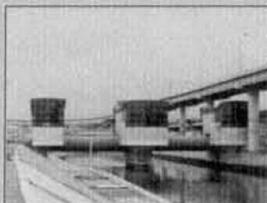
今回の見学会では、こうした荒川の河川改修の歴史を踏まえつつ、巡視船で荒川に設置された排水機場や水門などを訪れ、治水施設についての理解を深めました。



実施日は平成17年1月14日(金)、参加人数は30名、巡視船「あらかわ」に乗り、荒川下流部および隅田川を見学しました。途中、堀切リバーステーションと小松川リバーステーションで下船し、堀切菖蒲水門・綾瀬排水機場・荒川ロックゲートの3箇所を訪れました。

堀切菖蒲水門

平成3年9月の台風19号による綾瀬川流域大洪水の再発防止のためにつくられた施設です。これにより施設下流からの逆流を押さえることで、これまで中川の水や海水の逆流等によって効率的な排水ができなかった綾瀬排水機場のポンプの増設を可能にし、綾瀬川出水時の効率的な排水を可能にしました。



綾瀬排水機場

綾瀬川流域の洪水防止のために建設された施設で、水位の上った綾瀬川の水を荒川に排水しています。ポンプの能力は1台当たり50m³/Sで、小学校の25mプールを4~5秒でいっぱいにする力があります。初めは1台でしたが、現在は堀切菖蒲水門の完成に伴い2台に増設されています。



荒川ロックゲート

荒川と隅田川に挟まれた江東デルタ地帯は、地面の高さが海水面より低く、地盤も弱いので、大きな洪水や地震発生時における甚大な被害が予想されています。荒川ロックゲートの整備によって、災害時に鉄道や道路が使えない時などの、被災者の救出・救援物資の運搬・廃材の搬出等の復旧活動を迅速に行うとともに、江東デルタ地帯における荒川と隅田川両方の水上交通を確保することが可能になります。



スタート!



まずは「荒川知水資料館(amoa)」を見学。荒川の基本知識を学びます。

ゴール!



見学会の最後に「旧岩淵水門」前にて集合写真を撮りました。考えてみれば見学会の第4回目にして初の集合写真撮影でした。

当日の見学コースは以下のとおり!

※スタートから時計回りにご覧下さい。



「岩淵RS」より巡視船「あらかわ」に乗って「堀切RS」に向かいます。



「堀切RS」からは徒歩で「堀切菖蒲水門」へ向かいました。



「堀切菖蒲水門」内を見学する参加者の皆さん。



「堀切菖蒲水門」から「綾瀬排水機場」へはバスで移動しました。



「綾瀬排水機場」では、羽田野機械課長より説明を受けました。



「綾瀬排水機場」のポンプの様子は。



こちらは「吾妻橋」です。隅田川もだいたい上流まで上ってきました。



「レインブリッジ」をくぐります。写真は船内にあるモニター映像です。



再度船に乗り、東京湾を経て隅田川に向かいます。写真は船内の様子です。



「小松川RS」で下船、建設中の「荒川ロックゲート」を見学しました。



再び船に乗り「小松川RS」に向かいます。デッキへは2交代で上がりました。



天気が良かったので、お昼ご飯は「綾瀬排水機場」前の堤防上で食べました。



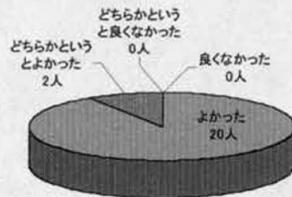
この見学会・交流会は、新河岸川流域フォーラムと並行して継続的に活動を行うことで、川づくりへの市民の関心の醸成、また、団体間における円滑な情報交換・交流等の促進に期待し、各河川での川づくり活動の充実に資することを目的としています。

アンケートで見る参加者の意見など！

見学会時に配ったアンケートの結果概要

<問1：船上見学会の評価>

船上見学会の評価としては、回答のあった22人中20人が「よかった」、2人が「どちらかというともよかった」と回答しており、参加者のほぼ全員より高い評価を得たことがわかります。(図A参照)



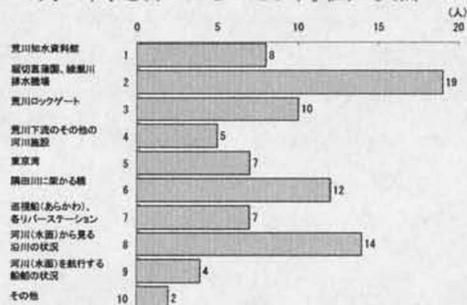
図A 船上見学会の評価

<問2：船上見学会の感想>

船上見学会の感想としては、各項目において「そう思う」と「どちらかというとも思う」の合計が90%を超える100%近い割合になり、参加者は総じて良い印象を持ったといえます。(図B参照)



図B 船上見学会の感想



図C 印象に残った見学箇所

<問3：印象に残った見学箇所>

印象に残った見学箇所としては「堀切菖蒲水門、綾瀬排水機場」が19人と最も多く、次いで「河川(水面)から見る沿川の状況」の14人、「隅田川に架かる橋」の12人と回答しており、川から沿川の治水施設を見るという今回の企画主旨が概ね反映された結果になりました。(図C参照)

<問4：次回の船上見学会への参加希望>

次回の船上見学会への参加希望としては、回答のあった23人中20人が「参加したい」、3人が「どちらかというとも参加してもよい」となり、参加者のほぼ全員から「機会があればまた参加したい」という回答を得ました。(図D参照)

<問5：自由意見> ※以下は自由意見の抜粋です。

○景観等について

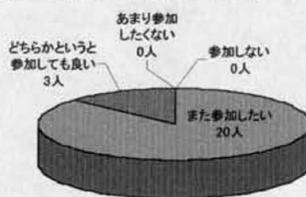
- ・川の流がゆったりである反面、兩岸の景観は貧そうだった。
- ・いかに都市生活が人工的に守られているのかが分かった。 など

○河川整備・河川利用等について

- ・もう少し木陰があるような川でも良いのではないかと感じた。
- ・スーパー堤防の仕組みをはじめ知った。実際に見られて良かった。
- ・上流に比べ水質が汚れているように思えた。ヨシなどの水生植物があまり見られず残念だ。
- ・水上バス、水上タクシー、マイシブ等、水面をもっと通勤や通学に利用すべきである。
- ・全体的に清掃が行き届いていて、多くの住民が楽しめる場として整備されていた。
- ・荒川が人々の生活にうまく利用されているのが分かった。 など

○見学会について

- ・このような催しを定期的に行き、荒川を学ぶ機会があったら嬉しい。
- ・もう少しいろいろな施設を見学したかった。
- ・巡視船の窓ガラスが汚れていて、外が見えにくかった。 など



図D 次回への参加希望

総じて好評だったケロねっ!



お宝交流シンポジウム 発見!!自慢!! 志木をまるごと博物館にしよう!

昨年、11月27日(土)に、第2回 志木まるごと博物館 お宝交流シンポジウム「発見!!自慢!! 志木をまるごと博物館にしよう!」が実施されました。

本紙29号でも紹介した「志木まるごと博物館 河童のつづら」は、埼玉県志木地方を中心に市民が勝手に楽しみ、運営するエコミュージアムです。志木を流れる川の自然や、そこに生きる人々の記憶、文化遺産、生業... そんな「お宝」に囲まれて暮らすこちよさ、心の豊かさを、今の生活に活かしながら次の世代に伝えていくことを目的としています。

今回のお宝交流シンポジウムでは、「エコミュージアムが地域に果たす役割」をテーマに、日本エコミュージアム研究会理事である井原満明さんの基調講演や、志木小学校やいろは商店街の取り組み事例の報告、また、参加者全員によるワークショップなどを行いました。



基調講演でエコミュージアムの役割について話す、井原満明さんです。



学校と地域の融合について話す、志木小学校の大滝校長先生です。



いろは商店会の清水会長は商店街の取り組みについて話しました。

井原さんのお話では、日本では使い物にならなくなったモノを指して「博物館行き」などと称されるようですが、博物館は社会の発展に貢献するべきであり、環境の中に経済性を見いだすことがエコミュージアムの役割でもあるとのことでした。

当日のスケジュール

1. 開会 (主催者の主旨説明)
2. 基調講演
「エコミュージアムが地域に果たす役割」
井原満明さん (日本エコミュージアム研究会理事 / 株式会社画研研究所)
3. 事例報告とワークショップ
コメンテーター: 井原満明さん、森良さん (NPO法人エココミュニケーションセンター代表理事)
事例報告: 「学校と地域の融合の取り組み」
志木小学校 校長 大滝孝久さん
「市民と共につくるまちづくり」
いろは商店会会長 清水良介さん
「エコミュージアムの取り組み」
志木まるごと博物館 河童のつづら 館長 天田 真さん
ワークショップ: 参加者全員
4. 閉会



ワークショップの様子です。各々の意見を出し合います。



コメンテーターの森良さんより本日の総括をいただきました。

身近な川の一斉調査 (2004年) 報告会

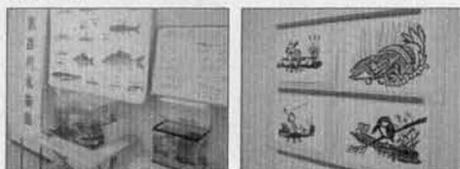
昨年、11月28日(日)に「身近な川の一斉調査2004年報告会&シンポジウム」が実施されました。これは新河岸川流域の各河川で毎年実施している水質調査の報告会で、新河岸川流域での調査は今回で9回目になり、また、今回は初めての全国一斉調査としても実施されました。

報告会当日の様子！

「皆さんの協力があって可能になっている一斉調査なので、参加してくれた人はもとより、少しでも多くの人に状況を伝えたいという想いから報告会を実施しています」と、主催の一人である菅谷さんは言います。それもそのはず、報告のベースとなる一斉調査は、6月6日の「世界環境デー」を中心に、新河岸川流域では50団体258地点で、全国(42都道府県)では531団体2,545地点で実施されているのです。全国の約1割が新河岸川流域での調査ということになれば、自ずと力が入る理由も分かりますね。

報告会の午前は、「伝える」をテーマにした小・中・高校生の発表でした。発表校の生徒さん達は、それぞれに工夫して水質調査等の体験談を発表してくれました。午後になると、まず初めに会の主催である新河岸川水系水環境連絡会の丹野さんから、一斉調査データから見た今年の特徴についてバブルチャートを用いての発表がありました(柳瀬川・黒目川について、当日配布の資料より7ページに掲載)。次に、「流域の水循環」をテーマにしたシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、芝浦工業大学教授の松下潤さんと社団法人雨水貯留浸透技術協会の忌部正博さんが講師として招かれ、東京農工大学名誉教授 小倉紀雄さんのコーディネートのもと各々の考えを述べていました。

なお、会の途中で、新河岸川水系水環境連絡会のホームページの紹介や本紙の表紙でお馴染みの毛利さんの切り絵の紹介、また全国水環境マップ実行委員会 事務局の佐山さんより全国一斉調査についての報告がありました。



黒目川を親しむ会の皆さんが会場脇に「黒目川水族館」をオープンしてくれました！

本紙の表紙でもお馴染み、毛利さんの切り絵が紹介されました！



朝霞市立第三小学校の生徒さんの発表です。手作りの指示棒が可愛いですね！



こちらは所沢西高の生徒さんへの質問の様子です！質問しているのは同校のOBとか！？



シンポジウムの講師、左から忌部さん、松下さん、そしてコーディネーターの小倉さんです！



全国水環境マップ実行委員会の佐山さんより全国一斉調査についての報告がありました！

不老川の水質は？

不老川流域川づくり市民の会の会報誌「川のささやき」より

不老川では11地点測定しましたが、水の汚れを示す代表的な指標であるCODでの平均値が18.5mg/lとなり、新河岸川(33河川)の平均値(8.6mg/l)の2倍以上となりました。これはいずれもCODが18.0mg/l以上のワースト3河川の中の1つです。

全国では、6.0mg/l未満が約65%、6.0mg/l以上から8.0mg/l未満が約15%、8.0mg/l以上が約20%でした。

不老川には最近、クチボソなどの魚が見られるようになってきていますが、昨年12月の環境省の報道発表ではBODで11.0mg/lと全国ワースト9位でした。さらに市民が協力して、他のきれいな川に追いつくようにしたいものです。(中牟田さん記)

バブルチャートで見る新河岸川水系の水質！

柳瀬川 黒目川

バブルチャートで水質の履歴を考えると、河川や観測地点の水が野火止用水(図中の太線)の右側に位置するのか？それとも左側に位置するのか、ひとつの基準(尺度)になります。皆さんもご存じのように、野火止用水は多摩川上流処理場の高度処理水です。したがって、野火止用水より右側のバブル値は下水処理など何らかの人為的処理が加えられた水やその影響が大きい水で、左側のバブル値で電気伝導度が約300 μ S/cm以上でCOD値が大きく透視度が低い場合は、家庭雑排水が処理廃水の影響をより大きく受けている水と考えられます。

例えば、柳瀬川と黒目川のバブルチャートを野火止用水との位置関係に注意しながら比較してみましょう。

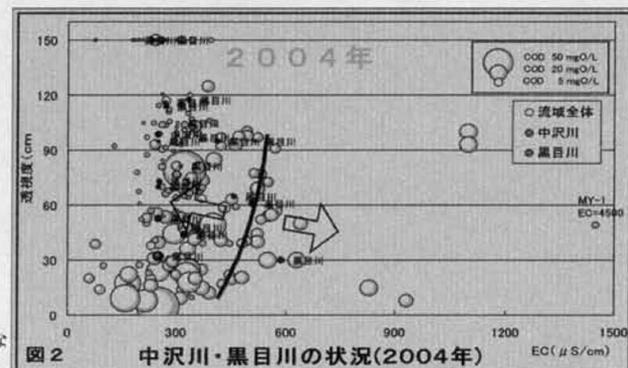
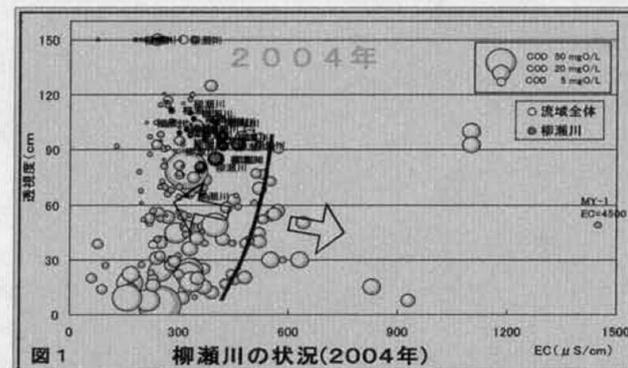
柳瀬川(図1)の場合、その流域の測定値は透視度の平均値102cm電気伝導度の平均値334 μ S/cmを中心に各測定点が集まった形となりました。場所による雨量の多少を考慮しても、雨が降ったにもかかわらず流路延長19.6kmの柳瀬川で、これほどの均一な水質が得られたわけです。柳瀬川流域には清瀬の下水処理場放流水や、所沢市浄化センター放流水を含む東川や空堀川が流れ込みますが、それらの流入よりも大きな本川の流量があったものと考えるのが妥当です。2002年と2003年の過去2年間における測定結果は、バブルチャート上でもっと縦方向に広がった(透視度の変化の幅が大きい)分布を示していました。2004年は雨

の影響がたまたま図1のような分布をもたらしたのかもしれませんが、流下に伴う河床からの巻き上げ等の増加も少なかった、つまり比較的安定した河床状態だった可能性も考えられます。また、2004年の観測結果は全て野火止用水の左側であり、新河岸川流域における柳瀬川流域の相対的な自然度の高さを示しているように考えられます。

これに対して黒目川(図2)は、2002年、2003年に引き続き、バブルチャート上で広く分布している形になりました。透視度が高く電気伝導度の低い水がある一方で、様々な種類の人工的な水が流入し、透視度が高く電気伝導度の高い水も存在する様子が示されています。

しかも、野火止用水の右側に測定結果が出現することもあり、単なる家庭雑排水だけではなく、何らかの処理水の大量流入が予想されます。このことは黒目川流域の水循環が人間社会との関わりの中でより複雑になっている結果であり、流下に伴い流路延長15.1kmの様々な場所で様々な水質の水を集めながら大きな流れとなっているとも言えます。

柳瀬川と黒目川は、新河岸川水系の中でそれぞれ広い集水域を持つ川ですが、バブルチャートからは2つの河川の状況の違いを感じさせられる結果となりました。



※右図は報告会当日の資料「新河岸川水系「身近な川の一斉調査報告書 2004/6/6」P26より抜粋

● Infomation ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○● イベントカレンダー

不老川流域川づくり市民の会 イベント情報

「食べて語って入曾のうどん」

狭山市の入曾ではひと昔前まで、うどんが「ハレ」の日の食べ物だったことを知っていますか？
手打ちうどんをつくり、味わい、地域のくらしと水の歴史をひもといってみましょう。

日 時：2月21日(月) 午前9時～午後3時
内 容：午前は調理室で手打ちうどんづくり
午後第1学習室でみんなでトーク
問合せ：04-2959-3831 (丸橋)

場 所：狭山市入間公民館
参加費：500円
持ち物：三角巾



ほんとに
ねえ!

なんだかお腹が
空いたなあ～!



エコシティ志木 イベント情報

エコシティ志木からは、本紙29号で紹介した「河童のつづら検定」の表彰式等のお知らせです。

「河童のつづら検定 表彰式」

日 時：2月26日(土) 午前10時～12時
場 所：志木市 いろは学遊館 2階 視聴覚室

何人くらい表彰される
のかなあ～!?



「お宝発見ツアー ～宗岡の堤防・碑門・水塚を訪ねて～」

日 時：2月26日(土) 午後1時～3時 ※雨天中止
集 合：旧村山快哉堂前(志木市役所向かい「いろは親水公園」中州ゾーン)
問合せ：048-471-4275 (毛利) 参加費：200円

全国水環境マップ実行委員会 イベント情報

「第2回 身近な水環境の全国一斉調査 参加のお誘い」

本紙本号でも紹介しました「身近な川の一斉調査」は、今年も「第2回 身近な水環境の全国一斉調査」として全国規模で実施されます。多くの皆さんの参加を期待しています!

日 時：6月5日(日) 世界環境デー(環境の日)
測定項目：気温、水温、COD、その他
測定方法：調査マニュアル、調査キットに基づき測定 ※参加申込者に5月頃配付予定
参加方法：2月末日までに以下までご連絡下さい。
問合せ：03-3297-2644 (全国水環境マップ実行委員会/事務局：小倉)

奮って
参加してケロ!!



新所沢事務所通信

里川しんぶんについてや、活動についてのお問い合わせは、
新所沢事務所までお気軽にどうぞ!

●開館時間

月・水・金：午後1時～午後5時
土・日・祝日：午前10時～午後5時
火・木：休館

会議などでご利用になる場合は、開館時間の変更も可能です。
ご利用の方は新所沢事務所までご連絡下さい。

●連絡先

〒359-0043 所沢市弥生町2996-6 1F
新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所
TEL/FAX：04-2994-3212

新所沢事務所閉鎖のお知らせ

平成17年3月27日(日)をもちまして、
新所沢事務所を閉鎖することになりました。
詳細はホームページにてご確認ください。

